

## 業務用米向け多収性品種の目標収量達成に向けて 適期中干し開始で目標穂数を確保！

### ここがポイント！！

- 1 茎数を確認し、適期中干しを開始する（早過ぎない）
- 2 茎数が目安に達しない場合でも、下記までに中干しを開始する  
早生品種：6月15日 晩生品種：6月末
- 3 出穂期1ヶ月前には中干しを終了し、間断かん水に移る

### 1 中干し開始時の茎数の目安

| 品種名           | 熟期 | 中干し開始時の茎数           |                |                |                | 目標穂数<br>(本/m <sup>2</sup> ) |
|---------------|----|---------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------------------|
|               |    | (本/m <sup>2</sup> ) | 50株植え<br>(本/株) | 60株植え<br>(本/株) | 70株植え<br>(本/株) |                             |
| ゆきん子舞         | 早生 | 360                 | -              | 20             | 17             | 450                         |
| つきあかり         | 早生 | 400                 | -              | 22             | 19             | 400                         |
| あきだわら         | 晩生 | 290                 | 19             | 16             | 14             | 360                         |
| (参考)<br>コシヒカリ | 中生 | 280                 | 18             | 15             | -              | 350                         |

※穂数が確保しやすい「ゆきん子舞」、「あきだわら」は目標穂数の8割、穂数が確保しにくい「つきあかり」は目標穂数の茎数が確保された時点で中干しを開始する。  
※このほかの品種については、普及指導センター又はJAへお問い合わせください。

### 2 これまでの生育状況と今後の管理

- ・ これまでの生育は順調で、茎数は急増中である（5月中旬植えは今後急増）。
- ・ 中干し開始が早過ぎると、穂数不足で目標収量の確保が困難になるため、茎数を確認して適期中干しを開始する。
- ・ 上記中干し開始時の**茎数が確保されていない場合でも**、根の健全化を目的に**早生品種は6月15日、晩生品種は6月末までに、中干しを開始する。**
- ・ 中干し効果の発揮、生育後期の水管理のため、**溝切りは必ず行う。**
- ・ 中干しは田面に小ヒビが入る程度とし、出穂期1ヶ月前までに終了する。